

令和元年度第1回(第36期)浜松市社会教育委員会会議録

- 1 開催日時 令和元年7月29日(木)午後1時15分から午後4時
- 2 開催場所 浜松市役所本館8階 第3委員会室
- 3 出席状況
- | | |
|------|---|
| 委員 | 伊藤豪委員、島埜内恵委員、鈴木信行委員、
屋名池倫子委員、河合亮子委員、近藤潤子委員、
鈴木一夫委員、中村朋子委員、晝馬るみ委員、
高木一徳委員 |
| 事務局 | 花井教育長(途中退席)、
寺田文化振興担当課長、
藤田生涯学習担当課長、中村生涯学習推進グループ長、
山内指導主事、井ノ口指導主事 |
| | 平成31年度生涯学習事業計画提案関係者(議事2より) |
| | 中区まちづくり推進課 溝垣課長、
齋藤生涯学習・環境グループ長、
白柳 西部協働センター所長 |
| | 東区区民生活課 鈴木隆文課長、佐藤、
小林 天竜協働センター所長 |
| | 西区まちづくり推進課 鈴木克尚課長、
小粥 庄内協働センター所長 |
| | 南区区民生活課 鈴木恒安課長、梶浦、
伊賀 南陽協働センター所長 |
| | 北区まちづくり推進課 井口課長、
山本生涯学習グループ長、
森田 都田協働センター所長 |
| | 浜北区まちづくり推進課 大林課長、野中、
鈴木 浜名協働センター所長 |
| | 天竜区まちづくり推進課 河合課長、
片桐 文化生涯学習グループ長 |
| 欠席委員 | なし |
- 4 傍聴者 1人(一般:0人、記者:1人)

- 5 議事内容 議事1
- (1) 正・副委員長の選出
 - (2) 浜松市教育関係行政組織
 - (3) 第36期浜松市社会教育委員会の活動
 - (4) 浜松市の生涯学習の基本方向
- 議事2
- 平成30年度生涯学習事業実績と平成31年度生涯学習事業計画
- 6 会議録作成者 創造都市・文化振興課生涯学習推進グループ 山内剛治、今井千晶
- 7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無

8 会議記録

<p>1 開会</p> <p>2 委員委嘱</p> <p>3 教育長あいさつ</p> <p>4 職員紹介</p> <p>5 議事1 (1部)</p> <p>(1) 正・副委員長の選出</p> <p>■事務局から、資料1に基づき、社会教育委員の設置根拠等を説明</p> <p>■選出</p> <p>(事務局)</p> <p>正・副委員長については、「浜松市社会教育委員条例施行規則」第3条に「委員会に委員長及び副委員長をそれぞれ1人置く」とあり、同第2項に「委員長及び副委員長は、委員の互選により定める」となっている。この規定に従い選出していただきたい。</p> <p>(河合亮子委員)</p> <p>委員長は、前期第35期からの継続委員であり元小学校校長で、現在は行政相談員として、学校教育、社会教育の双方について幅広いご経験や実績をお持ちの伊藤豪委員にお願いしたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>他の委員の皆様はいかがか。</p> <p>(他の委員)</p> <p>(拍手) 異議なし。</p> <p>(事務局)</p> <p>伊藤委員、いかがか。</p> <p>(伊藤豪委員)</p> <p>《承諾》</p> <p>(事務局)</p> <p>副委員長についても、「互選により定める」となっている。いかがか。</p> <p>(伊藤委員長)</p> <p>学識経験者として幅広い見識をお持ちであるとともに、本委員会で継続して議論</p>
--

を重ねている「浜松市と大学との連携事業」にも取り組んでいただいている島埜内恵委員にお願いしたい。

(事務局)

他の委員の皆様はいかがか。

(他の委員)

(拍手) 異議なし。

(事務局)

島埜内委員、いかがか。

(島埜内恵委員)

《承諾》

(2) 浜松市社会教育委員関係組織

■事務局から、資料2に基づき、令和元年度の社会教育関係行政組織について説明

(3) 第36期浜松市社会教育委員会

■事務局から、資料3に基づき、第36期の活動内容等、及び令和元年度スケジュールについて説明

(4) 浜松市の生涯学習の基本方向

■事務局から、浜松市生涯学習推進大綱、資料4に基づき、浜松市の生涯学習の基本方向について説明

(高木一徳委員)

20年程前に、合併前の水窪町で生涯学習関係を教育委員会で担当した。社会教育委員は浜松の行政組織のどこが守備範囲になるか教えて頂きたい。

(事務局)

社会教育の範囲は広く、学校教育以外は全て社会教育ということになる。行政組織の担当も多岐に渡るため、社会教育委員会としては、主に協働センター等で行われている社会人や学校教育以外の子供の学習活動に焦点を絞ってご議論、ご活動いただいている。広い意味で社会教育と言うと、美術館や図書館等も含まれるため、連携して事業を進めている。

(高木一徳委員)

そう考えていくと、学校教育も関わった大きなフィールドがイメージできる。以前関わった組織で言うと、生涯学習推進協議会があり、社会教育委員、学校関係行政も含め大きな組織であった。生涯学習推進協議会のような組織の下が社会教育委員会であれば、自分たちが色々な中の活動に対してアドバイスができると思うが、浜松市の社会教育委員としてどうやって関わっていくべきかご示唆いただけるとありがたい。

(事務局)

社会教育は、多岐に渡る教育活動を包括しているものの、実際の組織としては分散しているところがある。本市の社会教育委員会は、創造都市・文化振興課の生涯学習部門が所管となっているので、主に協働センター等を中心とした生涯学習ということでご意見をいただくことになるが、幅広い分野での助言をしていただければ窓口としての機能を果たしていきたい。

また、かつて存在した公民館運営審議会を、市の合併と共に社会教育委員会に統合した。そのような理由からも、各地域での生涯学習の拠点としている旧公民館である協働センター等の事業について、社会教育委員会でご議論いただいている。本日の会議の第2部に、協働センター等を所管する各区の職員に来ていただき、各センターにおける生涯学習事業を報告してもらおう場を設定しているのも、かつての公民館運営審議会の流れを汲んだものである。

(鈴木一夫委員)

2年前に社会教育委員会に新しく参加した際、何をやればよいのか分からなかった。近くの新津協働センターに行き相談した。行政のやろうとしていることを市民の立場で話してほしいと言われ、それならできると思った。その後、(県教委が主催する)新任の社会教育委員が集まる研修会に参加した。いろいろな町の人に参加しており、町ごとにやっていることが異なる状況ではあったが、掛川市はたくさんメンバーがいて、自分たちでテーマを作って行政と相談して活動しているとのことであった。活動内容は町ごとに違うので、自分たちで決めていけばよいと感じた。

(伊藤豪委員長)

質問ありがとうございます。今回は36期のスタートの会になる。自己紹介も含め、生涯学習や社会教育に対する考え方や思いをお聞かせいただきたい。

(高木一徳委員)

3月まで地元の中学校の教員として勤めていた。20年前に水窪町の教育委員会に所属し、生涯学習協議会の事務局を担当していた。

(晝馬るみ委員)

現在民生委員をしていて、11月で一期目が終わる。民生委員は児童委員も兼ねている。現在、児童虐待が問題になっているが、家庭教育をどう進めていくべきかについては、まだまだ取り組みが浅い。子供たちを取り巻くことを視点として考えていけたらよいと思う。

(中村朋子委員)

観音山少年自然の家に3年間勤めていた。施設に来る子供たちを見ていて、学校教育ではできないことが本当にあると感じた。来てよかったといきいきとした子供たちを見て、社会教育施設が大事だと思った。現在は人権擁護委員をしていて、SOSミニレターや子供の悩みに返事を書く仕事をしている。今年から、地域の自治会の役員もしている。地域のお祭り行事で子供の姿を見るにつけ、子供は様々な言葉で育ち、子供と関わることによって大人も色々と学んでいけることを感じている。

(鈴木一夫委員)

老人福祉を専門にしている。15年前から「南風」を営んでいる。年に25回位南区の様々な町からシニアクラブや地区社協等からの依頼を受け、所属する楽団で、お年寄りのために歌を歌う活動をしている。

(島埜内恵副委員長)

専門は教育学で、保育士資格と幼稚園、小学校、中学校、高等学校と特別支援学校の教員免許資格を取る学生が1年目に受ける教育原理を担当している。教育の場は3つあって家庭教育、学校教育、社会教育をどう連動させていくかということ、
「大学との連携事業」でも浜松市にお世話になっているので、その立場からお話することができればと思う。

(伊藤豪委員長)

2期目になり、社会教育委員はこういう仕事をしていくのだと見えてきたところ

である。一私人としては孫の世話をする毎日だが、子供というのは、“社会を映す鏡”のような感じがしている。孫を通して地域に貢献していきたい。

(近藤潤子委員)

今年度初めて社会教育委員を務める。自分自身の勉強の為、視野を広げて貢献していきたい。健全育成会で主に小中学生の子供達に携わっている。幅広く年代を越えた活動をできればと思う。

(河合亮子委員)

中学校の図書館補助員を4年やっている。また、東部協働センターの生涯学習ボランティアの会「東部メニーフレンズ」で20年間活動している。この会は大人が中高校生の自主的なボランティア活動の補助をしている。8月4日に「東部チャイルドフェスタ」を開催する。これは中高生が企画を立て、地域の幼稚園児や小学校低学年の子たちを楽しませるイベントである。これからも現場の声を、会の中に反映させていただきたい。

(屋名池倫子委員)

浜松市PTA連絡協議会の副会長をしている。家庭が一番大切と考えており、家庭が良くなるように社会を良くしていきたい。また、「浜松友の会」の代表をしており、家事と家計簿のことについて主婦の方たちに広める活動も行っている。これからも、社会教育について学んでいきたい。

(鈴木信行委員)

北浜中学校校長をしている。現在の学校現場では、家庭、地域、学校の連携が重視されている。教員だけでは子供を育てられない時代なので、学校を開いて人材を活用し、地域の宝である子供を育てるという流れになってきている。地域に愛され、地域と共に歩む学校として教育活動を行っている。小学校では地域の方に見守りなど手伝ってもらい一緒に子供を育てている。中学校では、学生が地域に出て行って地域の人の役に立つ中学生になってもらいたいと考えている。北浜南部協働センターでの「センターまつり」では、たくさんの生徒がボランティアをしている。また、大学連携事業の「お芝居プロジェクト」にも参加している。毎年継続して講座をやっていることから、高校生になってもそこに関わることができ、子供たちの関係の輪が広がっていることを感じている。協働センターは、社会教育でとても大事な場所だと思うが、2つの中学校に対して1つの協働センターしかなく、体育館も併設されていない。協働センターを充実させていくことが、社会教育の広がりにつながっていくと考える。

6 議事2(2部)

平成30年度生涯学習事業実績と平成31年度生涯学習事業計画

■各区から、資料「平成30年度生涯学習事業報告・平成31年度生涯学習事業計画」に基づき、各区の平成30年度成果と課題、平成31年度の重点事項と具体的な計画について説明

■意見・感想、質疑応答

(高木一徳委員)

30年度の課題にもなっている高齢化、会員数の減少、維持、また増やすためのアイデアがあったら、紹介していただきたい。

(中区まちづくり推進課)

中区ではチラシだけでなくインターネット、SNSを使って「中区協働センター通信」として発信している。

(高木一徳委員)

「広報はままつ」は市全体は分かるが、各区ごとの情報が分かりづらいので、情報を加えて頂けるよう提案する。

(河合亮子委員)

南区の情報発信のフェイスブック「みなみる」の市民の反応を教えてください。

(南区区民生活課)

市民の反応についての具体的なデータはないが、「みなみる」は、生涯学習を含め、週3回発信している。

(河合亮子委員)

フェイスブックの活用は画期的だと思うので、ぜひ続けてほしい。また、北区で講座のメール受付を始めるということだが、具体的に教えていただきたい。

(北区都田協働センター)

今までは、子ども講座は、申込用紙を協働センターに持ってきていただいていたが、多くの人がスマホを持っている時代ということで、メール受付を4、5月の講座から始めてみた。電話受付も含めると、9割くらいがメール・電話での申し込みである。抽選になった際の可否の報告もメールにした。便利になったと好評である。始めたばかりだが利便性は上がったと感じている。

(河合亮子委員)

利用者もセンターも職員も手間が減るようなので、他の協働センターや区でも始めてほしい。

(晝馬るみ委員)

どの区も工夫していてよいと感じた。特に、北区の託児サービス付きの講座がよいと思ったので詳しく聞きたい。プロの方が託児にあたってくれるのか。子育て世代、若い世代へのサービスが増えていくとよいと思う。

(北区まちづくり推進課)

託児については、引佐協働センターで2年前から始めている。依頼は託児専門ではないが、子育てを専門としているNPO法人にしている。昨年は3回講座で託児を実施したが、3回出られない方がいたので、単発での講座がよいのではと思っている。今年は託児付きの単発を5講座程やっている。

(屋名池倫子委員)

講座の講師の方は、自分の地域ではなく市内の様々な場所に行っている。講師を選ぶ基準を教えてください。肩書きや実績が大切なのか。

(浜北区浜名協働センター所長)

市全体では、生涯学習講師登録制度がある。職員が閲覧できるようになっているので、依頼したいジャンルで、なるべく近い方を探している。今回実施した体を動かす講座については、協働センターを利用しており個人的にも知っている方であったので、講師として依頼した。

(屋名池倫子委員)

働く女性が増えてきているので、夜間、土曜日開催など、受講対象に合わせた時間を考えた上での開催はとてもよいと思う。

7 連絡事項

■事務局から以下の内容について連絡

- ・平成31年度指定都市社会教育主管課長会議及び社会教育委員連絡協議会
(7月4、5日)

- ・一般社団法人全国社会教育委員連合への加入
- ・次回視察研修「集まれ！市民力～生涯学習推進フェスタ」9月7日（金）
はままつ地域づくりフォーラム 13時～

8 閉会

9 会議録署名人 なし